

第 19 回学長定例記者会見資料 2

記者発表概要 日時：2016 年 5 月 27 日（金）14：00～、場所：神戸大学 本部 6 階大会議室

「子育ての方法と、成人後の学歴、所得、倫理観の調査」

■報告者 西村 和雄（神戸大学社会システムイノベーションセンター）080-5376-0003
八木 匡（同志社大学経済学部）090-2063-4947

■問題意識

日本の家庭の子供が社会的に成功する子育てとは、どのようなものなのか。特に、厳格な教育は効果があるのか。

■今回の調査

日本人 1 万人のアンケートデータを元に、日本の親に多い子育てのタイプを分類して、子育ての方法が、子どもの成人後の所得、幸福感、学歴、規範形成にどのような影響を与えるかを明らかにした。

■得られた知見

子育ての方法を、支援型、厳格型（タイガー）、迎合型、放任型、虐待型、平均型に分類すると、支援型が、所得、幸福感（前向き思考、安心感）、学歴形成という項目のすべてについて、他の子育てタイプよりも高い達成度を示した。

■報道解禁あり 理由：この調査結果は初めての発表であるため 解禁日時：5 月 27 日 15 時 30 分

■論文 独立行政法人経済産業研究所のDPとして発表される予定。

概要

本研究では、独立行政法人経済産業研究所のプロジェクト「活力ある日本経済社会の構築のための基礎的研究」の一環として、株式会社楽天リサーチを通じて 2016 年 1 月に行った Web 調査による 1 万人のデータを用いて、日本人の親に多い子育てのタイプと子育ての成果との関係を分析した。具体的には、子育ての方法が子どもの人格形成とパフォーマンスに与える影響について、就業後の所得、幸福感、学歴、倫理規範にどのような影響を与えるかを明らかにした。

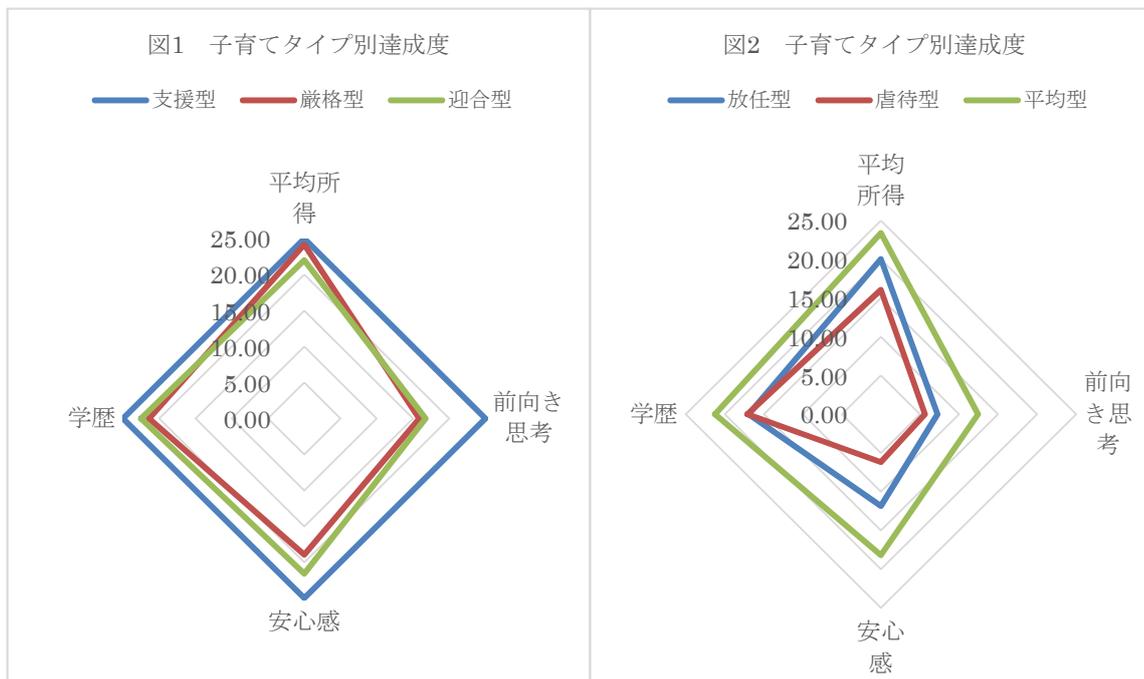
我々は、子供時代の親との関係に関する質問の回答の因子分析を行い、「関心」、「信頼」、「規範」、「自立」の 4 つを因子として抽出した。それに、親との「時間共有」経験、親の「厳しさ」の指標を加えた上で、子育ての方法を、支援型、厳格型（タイガー）、迎合型、放任型、虐待型、平均型に分類し、それぞれの子育てを受けたグループの平均所得、幸福感、学歴を比較した。

幸福感の分析は、Hills. and Michael (2002)で提示された質問リストを用い、因子分析によって「前向き思考」と「不安感（安心感）」の 2 つの因子を抽出した。その上で、所得、前向き思考、不安感、学歴形成という項目について、子育てタイプとの関連性を見てきた。

図 1 と 2 は、これらの項目についての男性の回答者の達成度である。不安感、達成度の点において他の項目とは逆方向となっているため、線形変換によって安心感指標に変えてレーダー図を作成している。また、学歴については、学歴別にポイントを設定し、子育てタイプ別に平均ポイントを計算した。

図から示されるように、支援型は、6 つの子育てタイプのなかで、すべての項目で最も高い達成度を示し、前向き思考では他よりも圧倒的に高くなっている。厳格型と迎合型は近い形状をしており、厳格型は所得で迎

合型よりも高いものの、安心感では低くなっている。虐待型はすべての項目において最も低い達成度となっているが、放任型も虐待型と近い形状になっている点は注意する必要がある。



参考文献

- Baumrind, D. (1967). Child care practices anteceding three patterns of preschool behavior. *Genetic Psychology Monographs*, 75(1), 43-88.
- Baumrind, D. (1968). Authoritarian vs. authoritative parental control. *Adolescence*, 3, 255-272.
- Hills, P. and Michael A. (2002), "The Oxford happiness questionnaire: a compact scale for the measurement of psychological well-being," *Personality and Individual Differences* 33, 1073-1082.
- Kim, Su Yeong, Yijie Wang, Diana Orozco-Lapray, Yishan Shen, and Mohammed Murtuza (2013), "Does 'Tiger Parenting' Exist? Parenting Profiles of Chinese Americans and Adolescent Developmental Outcomes," *Asian American Journal of Psychology*, Vol. 4, No. 1, 7-18.
- Maccoby, E. E., & Martin, J. A. (1983). Socialization in the context of the family: Parent-child interaction. In P. Mussen (Ed.) *Handbook of Child Psychology Vol.4*. New York: Wiley
- 西村和雄・平田純一・八木匡・浦坂純子 (2014) 「基本的モラルと社会的成功」、『RIETI Discussion Paper Series』、RIETI 独立行政法人経済産業研究所、(<http://www.rieti.go.jp/jp/>)